



羽ばたけ

平成30年8月24日 <第8号>

小学校の英語教育改革

小清水町立小清水小学校長 可児 隆洋

□ 小学校は、平成23年度から外国語活動として英語教育を主とした活動が導入されました。

いよいよ、平成32年度（2020年度）の学習指導要領完全実施から正式に教科としての外国語が始まります。英語教育で求められるレベルや内容が変わり、高校や大学の入試も変わると言われています。これは、英語教育改革と言われる程の大きな変化です。

英語教育改革に伴い、5・6で年間70単位時間（週あたり2時間）単語数で言えば600～700語を扱うことになりました。現在の中学生で扱う単語数が1200語程度ですから、「聞く・話す」だけの小学校外国語とはいえ、中学校の半数以上の単語数を小学校で扱うことになります。

今回の英語教育改革では、「聞く・話す」能力の向上をねらいとしています。3・4年生の外国語活動では、英語を積極的に話そう、使ってみようとする子ども達の姿勢を求めています。さらに、5・6年生では、読んだり書いたりすることも加わり、中学校へのつながりを意識した授業が求められています。

□ 具体的に英語教育の授業ではどんな授業をしているのでしょうか。

① 3・4年生の外国語活動は、「自分や身の回りのことについて質問したり答えたりすること」に重点をおいています。これまで5・6年生で扱っていた、歌やゲームなどで英語に慣れ親しむ活動を3・4年生から始めると考えてもらえると良いと思います。

5・6年生の外国語は、教科化に伴って高度な内容になります。多くの表現を使って、会話を続けたり、スピーチしたりすることを目指します。ただし、小学校は文法には触れず、フレーズのかたまりで意味を覚えるだけにとどめます。

② 覚えて身につけることが大事です。

過去に習った表現も組み合わせる場面も出てきます。その場限りで忘れてしまうことなく、過去に習った表現をしっかり定着させて積み上げていくことで会話を往復させるまでを求めています。

③ 評価をします。

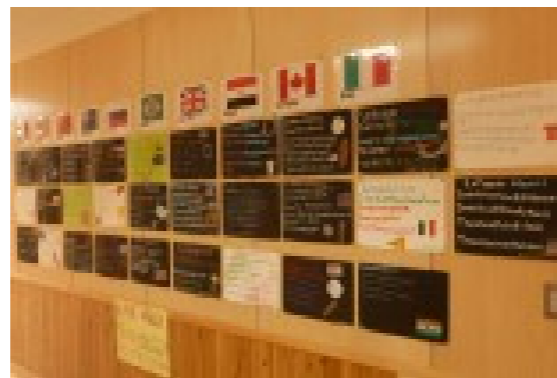
成績表に評価がつかます。ペーパーテストをするわけではないのですが、普段の授業の様子が観点にそって記述で記載されるようになります。

□ これからの英語教育で大切なことは…

小学校で大切なのは、楽しく英語に触れさせることです。「英語を使ってみよう」と思ったり、「英語を使えた」と感じさせることが大切です。そのためにも、英語に対して抵抗が少ない小学生の頃に、たくさん英語に触れさせようというのがこの英語教育改革です。

小学校英語によって、逆に英語嫌いを早い段階からつくってしまうという心配もされています。日本語の言語活用の力が無いと英語の力もつきません。このように、学校現場の課題は山積です。

ご家庭でも、子ども達が英語を使ったときには、たくさん褒めてあげてください。「英語をもっと頑張りたい」と言ってきたときには、そのやる気を応援してあげてください。小学生のときに「英語を楽しみ」と感じられた経験が、中学・高校、そして社会に出てからの英語への積極性につながります。



6年生が行きたい国を調べてポスターにしました。すべて英語で書いてあります！（視聴覚室前に掲示）

日	曜日	9月の行事予定	下校バス	
			14:45	16:00 16:10(金)
1	土			
2	日	北海道吹奏楽コンクール（札幌）		
3	月	開校記念日		
4	火	分掌部会（10月分）	○	○
5	水	避難訓練（火災） フッ化物洗口	○	○
6	木	永井さん読み聞かせ 第3回広報委員会 19:00	○	○
7	金	6年中学校登校日	○	16:10
8	土	土曜授業	特11:50	×
9	日	北見地区小学校バンドフェスティバル		
10	月	委員会	○	○
11	火	フッ化物洗口 クラブ 避難訓練（予備日） 和太鼓コンサート10:35～	○	○
12	水		○	○
13	木		○	○
14	金		○	16:10
15	土			
16	日			
17	月	敬老の日		
18	火	後期児童会役員選挙	○	○
19	水		○	○
20	木	永井さん読み聞かせ やまびこタイム	○	○
21	金		○	16:10
22	土	北海道小学校バンドフェスティバル（苫小牧）		
23	日	秋分の日		
24	月	振替休日		
25	火	教育相談（～10/13）	○	○
26	水	フッ化物洗口	○	○
27	木		○	○
28	金		特15:00	16:10
29	土			
30	日	町民マラソン大会	特11:40	×

小清水小学校ホームページ

校務用パソコンの入れ替え等によりホームページの更新が滞っていましたが、新しい記事が載せられるようになりました。

随時更新しているので、ホームページの方もご覧ください。

<http://www.town.koshimizu.hokkaido.jp/elementary/>



夏休み強化学習

夏休みの3日間、5・6年生が登校して算数の勉強をしました。

1学期の学習の中で苦手意識のある内容を補充学習することがねらいです。1クラスを2つに分けて1つの教室に2人の先生方がいるのでいつもの4倍の密度で学習します。いつもと違う先生や懐かしい先生と楽しく、時には厳しく勉強をしていました。



第60回 北見地区吹奏楽コンクール 金賞! 全道大会出場決定!

8月5日(日)に行われた標記大会において、小清水小学校金管バンドが金賞を受賞し、北見地区吹奏楽連盟の推薦を受けて第63回北海道吹奏楽コンクールに出場がまきました。

まずは、子ども達の日々の努力を讃え、保護者の皆様の多大な支援に感謝したいと思います。また、地域の皆様には、ほがじゃ祭り、ふるさと祭り等の演奏機会を数多く作っていただき、人前で演奏する経験を積ませて頂いたことが子ども達の力になりました。

9月2日(日)札幌コンサートホールKitaraで行われる北海道吹奏楽コンクールでは、子ども達がこれまで練習してきた成果を発揮して欲しいと思います。今後も小清水小学校金管バンドへの応援をよろしくをお願いします。



小中一貫した課題解決



持久力と敏捷性を高める



小学生と中学生の共通した課題として「持久力と敏捷性」という結果がでました。また、身体の柔軟性にも課題があることがわかりました。そこで、小学校としては、体育の授業の準備運動として、「縄跳び」と「ストレッチ」を取り入れることにしました。また、体育委員会の活動として縄跳び検定を始めました。基本的に火曜日と木曜日の20分休みと昼休みに開かれます。検定員は体育委員が務め、ピブスをつけて本格的に検定します。



小中一貫した課題解決

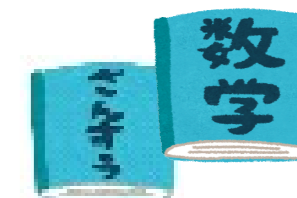
今年も小・中学校の先生が合同で研修をしています。各教科に分かれ、客観的なデータや普段の授業の様子から児童生徒の課題を見いだします。そして、日々の授業で課題解決のための手立てを実践しているところです。今回は算数の取り組みの紹介です。

問題の理解力をつける→規則性を見つける、問いに正対する。



課題に対する改善の手立て（小学校）

- ◇1 問題を声に出して読む
- ◇2 数量感覚を持たせるために具体物やICTを活用する
- ◇3 似ている問題や簡単な問題で解決する練習をする



平成30年度の全国学力・学習状況調査結果でも、この課題を裏付ける結果が出て来ました。調査結果については後日お知らせします。

地域の名人とクラブ活動

今年のクラブ活動は、
①バドミントン ②卓球 ③日本文化 ④料理 ⑤木工 ⑥パソコン ⑦韓国語 ⑧マンガ・アニメ の8クラブです。

今年は、地域の名人にもクラブへの協力をお願いしました。木工クラブには木戸家具建具製作所の木戸さん、日本文化クラブには 茶道裏千家淡交会網走支部の 山本さん、山中さん、宮原さんの協力をいただきました。先生方では教えることができない、技術を教えていただき、伝統的な所作にふれることができる貴重な機会になりました。



あの幼虫は・・・

6月の参観日の頃には幼虫だったアゲハ蝶が、きれいな成虫になって飛び立っていきました。

育てていた3年生は、目の前で羽化する様子や羽を伸ばしていく様子を観察できました。

終業式に羽化が間に合わなかったアゲハ蝶も無事に飛び立っていきました。

